

# 「森と水と命の惑星」国際会議

## ～地域と世界の心と魂を詠む～



4月26日第5面と  
べら俳句会(4月)

吉田ミチ子

対岸の くねる山々

春の海

絶景の 広田半島 春

かもめ

かもめ

真つ青な海に浮かび  
上がるうす桃色の桜の  
花、鈴木英里さんの写  
真は蕪村の海と吉田ミ  
チ子さんの海を重ね合  
わせた(歴史と心根)  
の世界のイメージを浮  
かび上がらせる。

(とわずがたり)

ノリ 大国のリーダ  
ーたちに(歴史と心  
根)への見識が欠けて  
いることなのかなあ!  
オサム気仙地方から世  
界へ、この見識の育成  
が今世紀の重要な課題  
であるというメッセー  
ジを発信することか  
ね!

アツシ 梅下村塾に  
この期待が高まってい  
るね!

ノリ 東海新報から  
世界へのメッセーシ発  
信への期待でもある  
ね!

(歴史と心根)

歴史を重ね語り継が  
れてきたものはいろい  
ろな心の音と根の姿を  
表します。隣国の国々  
は歴史認識への問題提  
起として告げ口外交や  
押し付け外交、事実の  
でっちあげなどいろい  
ろな手口を使って宣伝  
をととしてきておりま  
す。しかし、告げ口外  
交や押し付け外交には  
歴史認識をふかめ、お  
互いが話し合ってい  
なければ生きていく力  
が生まれてきません。  
21世紀文明には人類の  
歴史と心ねにふれるも  
おが必要なのです。

4月27日の第1面の  
「世迷言」は歴史への  
深い知恵からこれを述  
べている。大国のリー  
ダーにはこの見識が強  
く求められておりま  
す。

(春の海)

4月22日第6面 け  
せん(の詩)④フォト・ス  
トリー 水平線は穏  
やかに 大船渡市大船  
渡町字丸森で 撮影・  
鈴木英里

春の海 終日(ひねも  
す)のたり のたりか  
な

蕪村

歴史の深い知恵に謙虚  
な、これら深刻な問  
題への対応にはまず、